

# 事務事業評価シート

(平成 26 年度実施事業)

事務事業名	盛岡さくらまつり事業			事業コード	1561
所属コード	132000	課等名	商工観光部観光課	係名	観光推進担当
課長名	小笠原 千春	担当者名	押川 勇貴	内線番号	3726
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

## 1 事務事業の基本情報

(1) 概要 (旧総合計画体系における位置づけ)

総合計画 体系 (旧)	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	5
	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード	4
	基本事業	観光交流の推進	コード	2
予算費目名 (H26)	一般会計 7 款 1 項 3 目 まつり・イベント振興事業 (004-01)			
特記事項 (H26)				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	年度	
根拠法令等 (H26)				

(2) 事務事業の概要

盛岡市内の桜の名所である盛岡城跡公園及び高松公園で開催。ぼんぼりの点灯・さくらのライトアップに加え、安全かつ快適に観桜を楽しんでいただくための交通規制を実施している。

(3) この事務事業を開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

お花見の場を提供することにより、観光客の誘致を図る。(開始年不明)

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

行事の一層の推進及び宣伝活動の充実が求められており、平成 19 年からは従来のぼんぼり点灯に加え、桜のライトアップを開始している。また、自家用車での来場の増加に対応するため、駐車場の確保や公共交通機関の充実による渋滞対策が必要である。

## 2 事務事業の実施状況 (Do) . . . . .

### (1) 対象 (誰が, 何が対象か)

市民, 観光客, 花見客車両

### (2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 見込み	26年度 実績
A 観光客入込み数	万人回	466	471	472	490	497
B 盛岡市民	万人	30	30	30	30	30
C						

### (3) 26年度に実施した主な活動・手順

盛岡さくらまつり行事の準備・開催。開催について, ホームページ・広報・新聞等で周知・宣伝する。

### (4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 目標値	26年度 実績
A 周知・宣伝媒体数	誌等	2	5	5	6	5
B 地元町内会, 警察・消防等関係団体と打ち合わせ会の開催	回	1	1	1	1	1
C						

### (5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

盛岡の桜を見て楽しんでいただく。また, 高松の池周辺の渋滞に巻き込まれることなくスムーズに駐車場へ誘導または通行できるようにする,

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 目標値	26年度 実績
A 高松の池周辺の渋滞距離	□上げる ■下げる □維持	km	0	0	0	0	1
B 観光客入込み数	■上げる □下げる □維持	万人回	466	471	480	490	497
C	□上げる □下げる □維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 計画	26年度 実績
事業費	①国	千円					
	②県	千円					
	③地方債	千円					
	④一般財源	千円	1,236	4,220	4,796	4,928	4,565
	⑤その他( )	千円					
	A 小計 ①～⑤	千円	1,236	4,220	4,796	4,928	4,565
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	100	200	200	200	200
	B 職員人件費⑥×4,000円	千円	400	800	800	800	800
計	トータルコスト A+B	千円	1,636	5,020	5,596	5,728	5,365
備考 平成23年度は、東日本大震災により事業縮小							

3 事務事業の評価 (See) . . . . .

(1) 必要性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

まつり・イベントでの誘客は、盛岡市の観光客の入込みの主要な部分を占める。

② 市の関与の妥当性

観光客の誘致は、市の観光・産業振興に資するものであり、関与は妥当である。

### ③ 対象の妥当性

市民への健全な行楽の場の提供と観光客誘致を兼ねているものであり妥当である。

### ④ 廃止・休止の影響

まつり・イベントとしての宣伝が行われなくなることで、観光客の減につながる。また、高松公園会場の臨時駐車場の設置や交通誘導を実施しない場合は、公園周辺の道路渋滞が不可避であり、市民生活への悪影響が想定される。

## (2) 有効性評価（成果の向上余地）

より魅力あるイベントにするため、宣伝方法や企画内容等に見直しの余地がある。

## (3) 公平性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

市民・観光客の豊かな生活に寄与するものとして受益機会は、公平・公正であり適正である。

## (4) 効率性評価

委託業務内容の見直し、業務委託の拡大及び会場指定管理者との連携により、事業費を削減する余地がある。

## 4 事務事業の改革案 (Plan) . . . . .

### (1) 概要（新しい総合計画体系における位置付け）

総合計画 体系（新）	施策（方針）	観光の振興	コード	24
	小施策（推進項目）	観光情報の発信と観光客誘致の推進	コード	24-1

### (2) 改革改善の方向性

ぼんぼり・投光器設置や駐車場設置・誘導以外のイベントの検討も含め、会場である両公園の指定管理者等の関係団体と協議し、効率的な事業展開を目指す。

(3) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

新たなイベントの開催による観桜者増に伴う臨時駐車場設置，渋滞緩和について指定管理者等の関係団体と協議を進める。

**5 課長意見** . . . . .

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

開花時期が前後する可能性があることから，祭り期間やぼんぼりの点灯期間を調整するなどの柔軟な対応とともに，来場者の混雑に対応した安全対策，交通渋滞の発生を抑制する交通計画などを検討する必要がある。